



市議会だより

■ 9月定例議会

9月14日～10月4日

発行・下田市議会 編集・議会だより編集委員会 〒415-8501 下田市東本郷1丁目5番18号 ☎0558(22)2220〈直通〉



下田中学校音楽発表会
(三年生全員合唱)

認定こども園建設場所変更 寄贈された旧樋村邸耐震診断調査

9月定例議会

平成23年度一般会計補正予算可決

実りの秋、今年は台風15号の襲来もあり被災された方々には、心よりお見舞い申し上げます。

9月定例議会は、9月14日から10月4日までの21日間開催されました。

東日本大震災の影響もあり、いまだ全国的に経済が停滞しております。市議会は市民の皆様にとって実りのあるものにするため、3億6914万円の補正予算を追加し、総額92億8288万円の平成23年度一般会計補正予算を可決しました。

本会議は、6議員の一般質問に始まり、平成22年度一般会計・各特別会計・水道事業会計歳入歳出決算11件、各会計補正予算9件、条例改正2件すべて原案通り可決認定いたしました。

後期高齢者医療 特別会計決算

望まれる。

◎後期高齢者医療制度は平成20年度から75歳以上の者を対象として開始された。しかし、平成25年3月での廃止が予定されている。県全体を一体とした静岡県後期高齢者医療広域連合が保険者として執行されている。従って、当市での業務は、被保険者証の交付や返還と保険料の徴収事務に係わるものである。

◎歳入決算額は、2億9022万2411円、歳出決算額は2億8657万4677円、歳入歳出差引額364万7734円で、一般会計からの繰入金金は6916万197円である。

◎平成22年度の被保険者数(平均)は4186人で、1人当り医療費は74万4853円となり、県平均76万7965円を下回っている。

1人当り医療費の県内市町の最高額は81万8073円、最低額は62万2259円で

集落排水事業 特別会計決算

ある。

◎海の自然環境を守る観点から成果を上げていると思いが、人口減と高齢化により使用料の問題や施設の老朽化もあり、今後の維持管理が課題となる。

下水道事業 特別会計決算

◎平成24年度まで継続された接続助成金は、制度変更により前年度44件308万円から本年度2件14万円に減少した。今後、より一層の接続率を高める施策が必要である。

◎管渠整備事業費は、2209万5864円で幹線管渠築造55m、単独事業費は1502万3915円で枝線管渠築造116mの工事を施工した。



水道事業会計決算

◎給水戸数、人口の減少等により、年間有収水量は396万7080.3mと前年度に比べ2万1258.3m減少しているが、有収率は77.6%で、前年度より1.1%増と改善された。

◎配水管破損件数は88件と前年度に比べ43件増加したが、より細かな調査の結果と思える。これからも漏水防止に努められたい。

◎石綿管布設替工事は557.9mの取り替えを行い、残り18kmとなり、今後も漏水防止を含め、送・配水管の耐震化を早急に進めるべきである。

◎配水池等の耐震化事業等今後の莫大な費用の支出が見込まれ、厳しい水道事業経営であるが、市民への安全、安心の水の供給が水道事業の目的である。未給水地域の解消も含め、更なる向上を望むものである。

意見書提出

◎平成23年10月4日に地方自治法第99条の規定により、次の意見書を、内閣総理大臣等に提出しました。

- ・燃油税制にかかる特例措置に関する意見書

人事案件

◎人権擁護委員の推薦
土屋 均氏(須原)を推薦することについて、適任と判断いたしました。

◎下田市固定資産評価審査委員の選任
寺川悦男氏(柿崎)の任期満了に伴い再度選任することについて、同意いたしました。

議会を傍聴
しましろう
市議会へのご意見
ご要望を
お寄せ下さい

編集後記

今年度の夏季入り込み客数が昨年度比3割減少した。震災による自粛ムード、原発事故による放射能の風評そして海そのものへの警戒感と、その要因は概ね分析されているが、その解決策については講じられていない。一方で、箱根や富士五湖など「山」の観光地は概ね昨年度比増の結果。各地では一旦取り込んだ客へのリピートを目論んだ対策に努め始めている。「山」も「海」も兼ね備える下田の魅力を再度検証する時期に来ているのかもしれない。

(竹)

編集委員会

- ◇委員長 土屋雄二
- ◇副委員長 小泉孝敬
- ◇委員 員 竹内清二
- 岸山久志
- 田坂富代